



立春が近づいているとはいえ、1年でいちばん寒さの厳しい季節になりました。2月は日数が少なくあっという間に過ぎ去ることから『2月は逃げる』ともいわれています。学年末が近づき忙しい時期ですね。ゆっくり慌てずに、着実に次のステージに向かって前進していきましょう。春はもうすぐそこまできています。3年生のみなさんは風邪に気をつけて、体調管理をしっかりと自分の持っている力を十分に出しきれるように、心から願っています。桜咲く春が待ち遠しいですね！

ねこの日(2月22日)にいかが？

カメに飛ぶことを教えた猫

ルイス・セプルベダ著 963セ

世界から猫が消えたなら 川村元気 913カ

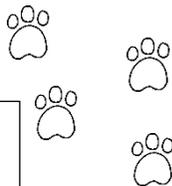
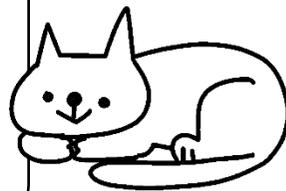
吾輩は猫である 夏目漱石 913ナ

猫とわたしの七日間 秋山浩司ほか 913ネ

猫の帰還 ロバート・ウェストール 933ウ

100万分の1回のおこ 江國香織ほか 913ヒ

ジェニィ ポール・ギャリコ 933ギ



2月生まれです！



ヴィクトル・ユーゴー

1802-1885

フランスの文豪といえばヴィクトル・ユーゴーです。その名を知らない人も「レ・ミゼラブル」の作者だといえば、わかるのではないのでしょうか。ユーゴーは、17歳にして国家主催の詩のコンクールで優勝するなど、早くから才能を世に示していました。若くして名声を得たユーゴーは、やがて有力者の支援を受けて政治にもかかわるようになり、社会的な活動を続け、その後の改革に大きな影響を与えます。亡命中に社会や人間の本質を描いた代表作「レ・ミゼラブル」を発表します。この作品は世界的な名作となりました。四中図書館にもありますよ！

新着本コーナー



チョコレート・ピース

青山美智子 著 913ア



人生の様々な場面で、チョコレートの一粒が登場人物を温かい前向きな気持ちにさせる短編がたくさん入っている本です。チョコバナナ・キューブチョコ・マカダミアナッツチョコなど・・・それぞれのチョコレートが恋や推し活・友情・失恋などの話の「ピース」(かけら)となって、優しい印象と甘い読後感があります。雑誌『anan』の人気連載の書き下ろしも入っています。ひとつひとつの話がとても短いので、あっという間に読めそうです。ぜひ2月にどうぞ・・・。

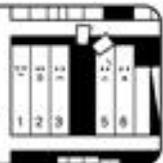
なぜ親はうるさいのか 田房 永子 著 367タ

タイトルがなかなかインパクトありますが、中学生の多感な時期に親がうるさいと思わなかった人は皆無ではないでしょうか。この本は「うるさい親」研究の書で、親が過干渉になる仕組みを子ども・大人・母親の立場から徹底究明しています。難しくはありません。イラストとマンガで読みやすいです。作者が40年間闘い続けて見えてきた「あの時の親の言動の意味」を種明かしします。もしかしたらみなさんの親が本当は読みたいかも・・・。

フェイクを見破れ！！ 山口慎太郎 著 417ヤ

アンケートの結果をそのまま信じますか。平均点が高いからいいと思っていますか。グラフのトリックや思い込み、TVやネットの情報の数値に惑わされず、他人の意見を鵜呑みせずに「自分で考える頭」を作っていきます。東大の経済学の先生が、小中学生にもわかるように数字やデータの謎を解き明かす本です。

返し忘れて
いる本が家
にありませんか？



卒業・進級をひかえ
返却忘れのないよう
お願いします！！